

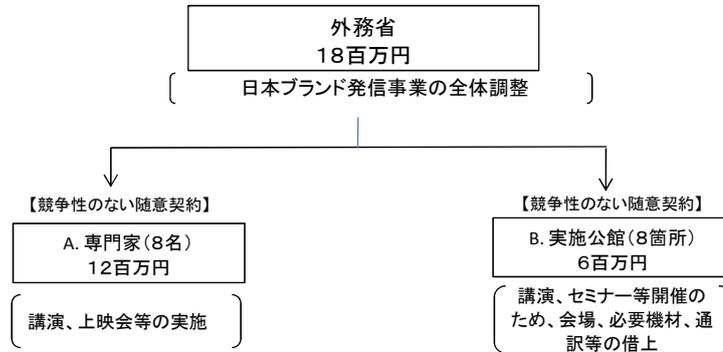
平成25年行政事業レビューシート (外務省)

<b>事業名</b>	日本ブランド発信事業経費		<b>担当部局庁</b>	外務報道官・広報文化組織		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成25年度開始		<b>担当課室</b>	広報文化外交戦略課		課長 新居 雄介		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	基本目標Ⅲ：広報、文化交流及び報道対策 具体的施策：Ⅲ-1-2 海外広報の実施				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	外務省設置法第4条 外務省組織令第3条及び第24条		<b>関係する計画、通知等</b>	「日本再生の基本戦略」				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	日本ブランドを復活・強化し、さらには多様な日本の魅力の発信に取り組む。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	市民社会の中から発信力のある人物を海外に派遣し、それぞれの特性を活かした講演・セミナー等を行わせる。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	-	18	68	
		繰越し等						
		計	-	-	-	18	68	
	執行額	-	-	-				
	執行率(%)	-	-	-				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	【成果目標】 日本ブランドを復活・強化し、多様な日本の魅力を発信		成果実績		-	-	-	8件
	【成果実績】 アンケート結果(参加者等からのアンケート評価平均満足度)		達成度	%				
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	事業実施数(H25年度末までに8件実施の予定)		活動実績 (当初見込み)			( )	( )	( 8件 )
<b>単位当たりコスト</b>	2,271千円/件(予定)		算出根拠	18,175千円/8件				
平成25・26年度予算内訳	<b>費目</b>	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	有識者旅費等	9	32	海外派遣の人数を8名から26名に増やすことにより、日本の国家ブランドを確立し、世界に向けた発信力を強化する。				
	有識者謝金	2	4					
	講演会謝金	2	6					
	講演会経費	5	21					
	政策広報専門員謝金	-	5					
	計	18	68					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	日本ブランドの復活・強化に関し、発信力を高め高い成果を上げるためには、外務省が派遣先・派遣講師の選定を行い、在外公館アレンジのもと講演会等を実施する必要がある		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	現時点においては未執行であるが、例えば、航空賃の調達においては、見積合わせ等により、可能な限り廉価な調達を図る等、コストの削減に努める。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	各講演実施にあたっては、講演のみならずプレスインタビューへの対応や、要人や有識者との意見交換も行うとともに、派遣先の国・地域において在外公館を通じて集客を行い、広報効果・費用対効果の向上に努める。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	本件事業は、海外の成長を日本に取り込むために、日本ブランドを海外に認知させる上で有益。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年		平成24年	新25-7

個別事業名： 日本ブランド発信事業経費

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位：百万円)